

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード:140006

在宅看護方法論 I Home Care Nursing I

担当教員	桜井志保美、日高未希恵、山路朋子、牛村春奈				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	在宅療養者とその家族の生活の理解、在宅での基本的生活援助技術				
学習目的・目標	【目的】 在宅看護の対象である在宅療養者・要介護者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術について講義・演習を通して修得できる。 【目標】 1.在宅ケアに関連する基本的概念や法制度を理解する。 2.在宅看護で必要とされる基本的生活援助技術を修得する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	地域・在宅看護における看護過程の基本				
2-4	【在宅看護を支える看護実践(演習)】 ・食と排泄 ・活動と休息 ・清潔と衣生活				
5	グループワーク(演習)				
6	【地域・在宅看護における安全をまもる看護】 環境整備、生活リハビリテーション、平時における緊急時や災害時の対策				
7-8	グループ課題発表(演習)				
教科書	河原加代子他:系統看護学講座 地域・在宅看護の実践、医学書院				
参考図書等					
評価指標	1. 課題およびレポート25% 2. 定期試験75%				
関連科目	在宅看護学概論・家族看護論・在宅看護方法論演習・在宅看護学実習				
教員から学生へのメッセージ	在宅看護方法論は、在宅看護関連科目、既習した看護の基本や看護援助の方法を踏まえて、対象の価値観・生活習慣・生活環境に合わせて応用してゆく看護方法を学びます。 課題等を通し主体的に学びながら、在宅特有の看護方法の修得に努めましょう。				